



Revs Your Heart

統合報告書 2023 2022年12月期

2023年12月期 第2四半期

決算説明会

2023年8月8日

ヤマハ発動機株式会社 (証券コード：7272)

統合報告書2023を発行

<https://global.yamaha-motor.com/jp/ir/integrated-report/integrated2023/>

2023年12月期 第2四半期決算

代表取締役社長

日高 祥博

取締役

設楽 元文

業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。

実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

概要説明

実績

増収・増益

- 過去最高売上高・営業利益を達成
売上高1兆2,264億円（前年比115%）・営業利益1,428億円（同139%）
- 二輪車・マリン：出荷増加により、増収・増益
- ロボティクス：中国市場低迷により、減収・減益

2023年の展望

事業環境

- 新興国は内需堅調
- 半導体調達改善しプレミアムモデル生産に追い風
- 物流費減少、原材料費の高騰一服

市場

- 新興国二輪車の需要回復、大型船外機堅調
- SPV市場は調整局面、ロボティクス市場の回復は来期にずれ込む

収益力強化

- 損益分岐点経営の推進継続

業績見通し

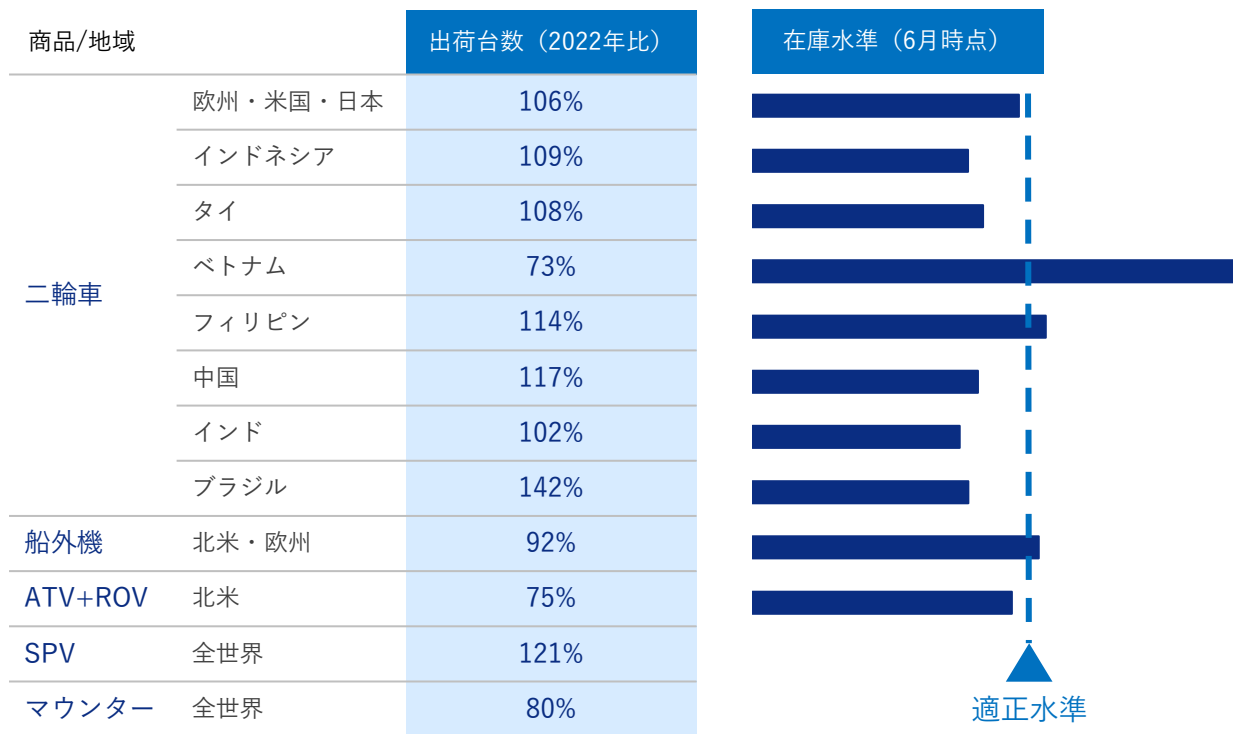
- 売上高2兆5,000億円、営業利益2,500億円に上方修正

株主還元

- 年間配当145円に増配

主要商品別 当社出荷台数・在庫（上期実績）

二輪車の新興国は需要堅調で出荷台数増加。欧州は在庫調整局面に入る。
船外機の中小型とSPVは市場在庫を調整中。



二輪車・ATV+ROVは流通在庫、船外機は拠点在庫。

二輪車・マリンで出荷増加、価格転嫁の効果拡大により、
過去最高の売上高・各利益を達成。

(億円)	2022年 上期	2023年 上期	前年比
売上高	10,689	12,264	115%
営業利益	1,024	1,428	139%
営業利益率	9.6%	11.6%	+2.0 pts.
経常利益	1,154	1,448	125%
当期純利益※	830	1,053	127%
EPS (円)	241.58	311.87	129%
(\$/€)	123/134	135/146	—
(\$/IDR/BR\$)	14,386/5.1	14,967/5.1	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

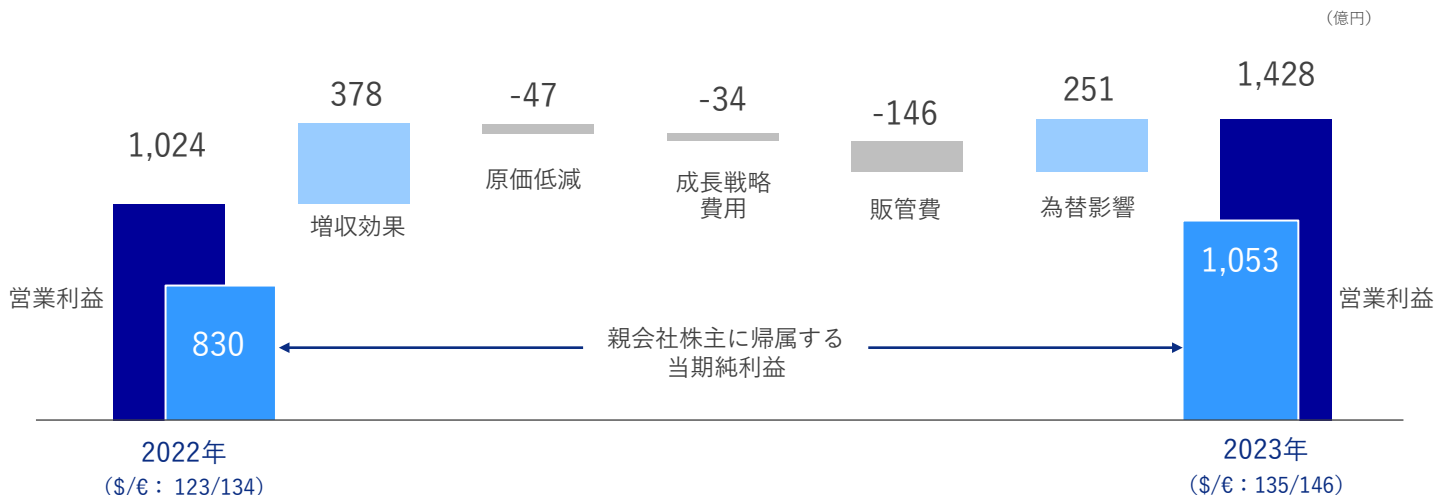
原材料や海上運賃等のコストアップ緩和と半導体調達改善の影響を織り込み、売上高・各利益を上方修正。

(億円)	2022年間実績	2023年間当初予想	2023年間修正予想	前年比	当初予想比
売上高	22,485	24,500	25,000	111%	102%
営業利益	2,249	2,300	2,500	111%	109%
営業利益率	10.0%	9.4%	10.0%	0 pts.	+0.6 pts.
経常利益	2,393	2,300	2,500	104%	109%
当期純利益※	1,744	1,600	1,800	103%	113%
EPS (円)	511.47	473.07	535.43	105%	113%
(\$/€)	132/138	125/135	135/145	—	—
(\$/IDR/BR\$)	14,805/5.2	15,500/5.3	15,000/5.0	—	—

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

2023年上期 営業利益変動要因

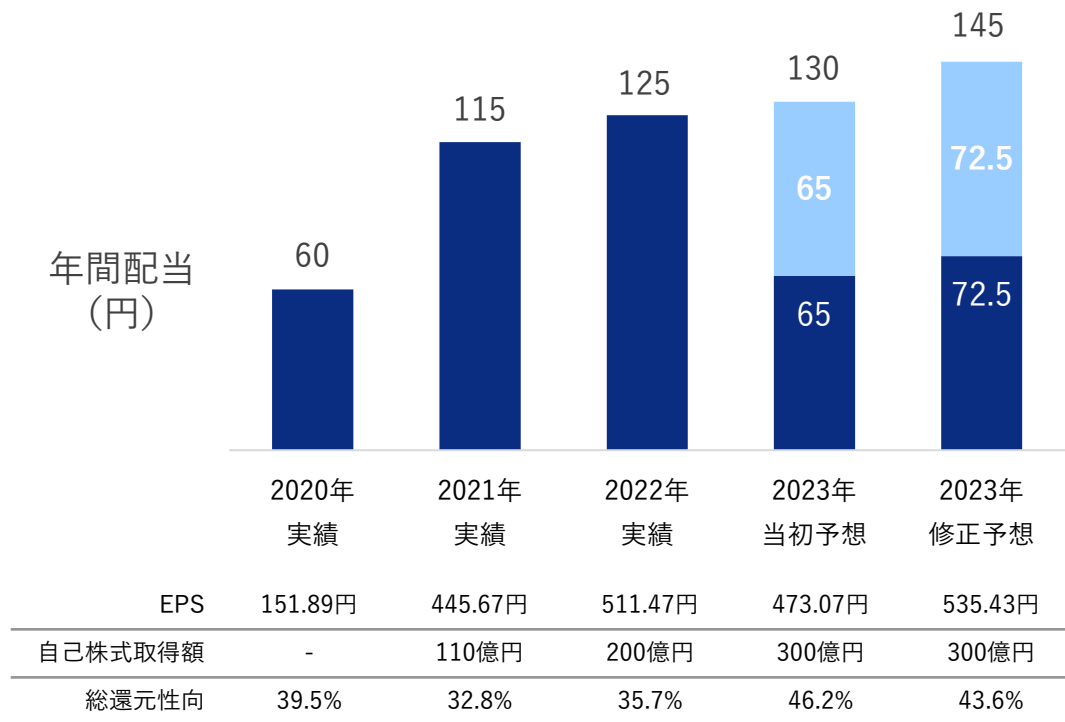
規模増加に加え、値上効果拡大。費用コントロールにより大幅増益。



増収効果内訳				原価低減内訳		販管費内訳	
規模増加	+120	値上	+417	コストダウン	+103	人件費	-39
ミックス・他	-216	未実現影響	+95	コストアップ	-149	物流費	-2
		金融サービス	-37			営業費用	-32
						その他	-74

株主還元

当社の株主還元方針を踏まえ、年間配当145円に増配。



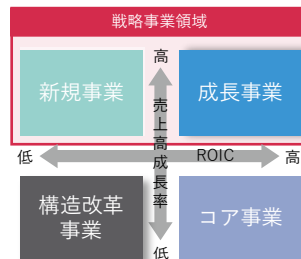
ポートフォリオ経営の実践

事業構造改革の進捗

汎用エンジン・発電機・除雪機の事業譲渡契約締結 ^{※1}
プール、スノーモビル事業の撤退決定

電動に関わるモノづくりスピードアップ、人材獲得強化、購買力強化

連結子会社ヤマハモーターエレクトロニクス（YEJP）との合併検討開始



カーボンニュートラルの進捗



国内二輪メーカー4社で
小型モビリティ^{※2}向け水素エンジンの
基礎研究を目的とした組合を設立

安全でやさしい移動の実現



国内初 レベル4
自動運転移動サービスを開始

※1：譲渡の実行は、競争法その他の法令上必要なクリアランス・許認可等の取得を前提とする。

※2：二輪、軽四輪・小型船舶・建設機械・ドローンなど

事業別説明

事業別 売上高・営業利益（上期実績）

売上高

(億円)	2022年 上期	2023年 上期	前年比
ランドモビリティ	6,887	7,950	115%
(内) 二輪車	6,060	7,058	116%
(内) RV	608	648	107%
(内) SPV	219	244	111%
マリン	2,559	2,998	117%
ロボティクス	578	460	80%
金融サービス	280	385	137%
その他	385	472	123%
全社	10,689	12,264	115%

営業利益

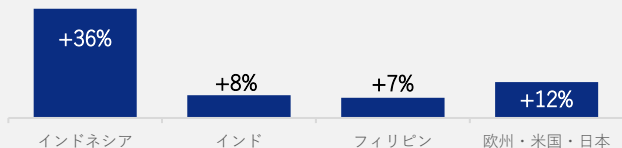
(億円)	2022年 上期	2023年 上期	前年比
ランドモビリティ	367	694	189%
(内) 二輪車	361	620	172%
(内) RV	-3	53	-
(内) SPV	10	21	218%
マリン	496	684	138%
ロボティクス	81	4	5%
金融サービス	93	43	46%
その他	-14	3	-
全社	1,024	1,428	139%

(\$/€) 2022年 (123/134) 2023年 (135/146)

- 実績：出荷台数増加。価格転嫁効果、コストアップ影響緩和により増収・増益。
- 年間見通し：NMAX等プレミアムスクーターの出荷上積みにより当初予想を上回る。

一市場一

総需要前年比

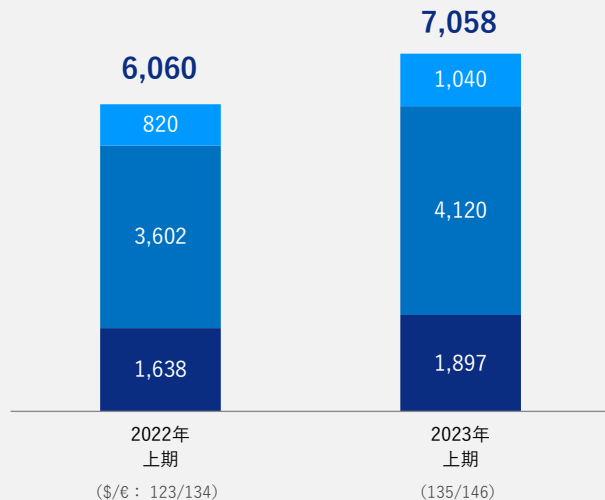


営業利益率 6.0%

8.8%

売上高 (億円)

■ 先進国 ■ アジア ■ 中南米・その他



- ・新興国 上海ロックダウン、コロナ影響から供給改善
- ・先進国 欧米供給改善、米国は代替需要もあり堅調

一当社一

グローバル出荷前年比増加
新興国プレミアムモデルの供給不足続く

R15M

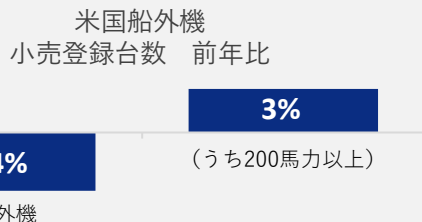


プレミアムスクーター、好評のMaxシリーズ増産



- 実績：大型船外機の出荷増加とWVの供給改善により増収。規模・価格転嫁効果により、増益。
- 年間見通し：中小型船外機の減産の一方、大型船外機とWVの出荷が進み当初予想並み。

一市場一



- ・ 200馬力以上の船外機で需要微増
- ・ 景気後退懸念で中小型船外機で需要微減

一当社一

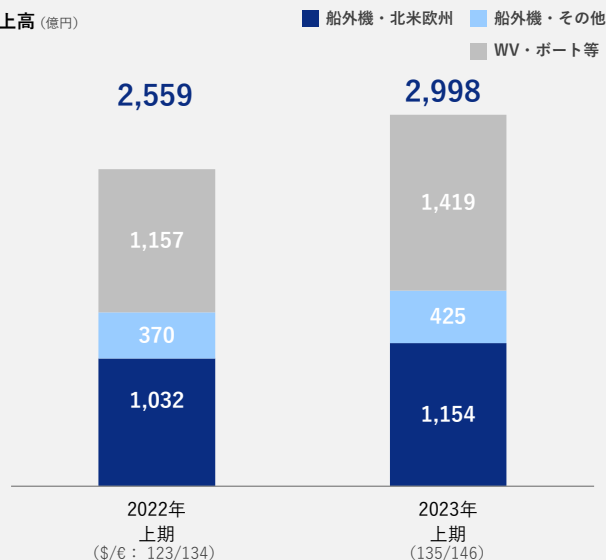
船外機

- ・ 大型船外機：出荷前年比増加
- ・ 中小型船外機：2Qより減産開始
- ・ ASEAN/中国：漁業/観光市場回復により、出荷増加

営業利益率 19.4%

22.8%

売上高 (億円)



RV事業

- 実績：需要減速。生産効率改善で増収・増益。
- 年間見通し：出荷減少するも当初予想並みで着地。

営業利益率 **-0.5%** **8.2%**

売上高 (億円)

608

648

2022年
上期

(\$/€ : 123/134)

2023年
上期

(135/146)

金融サービス事業

- 実績：債権増加に伴い増収。
金利変動等によるコスト増で減益。
- 年間見通し：外部環境変化の影響で当初予想下回る。

営業利益率 **33.2%** **11.0%**

売上高 (億円)

280

385

2022年
上期

2023年
上期

期末債権残高 (億円) **4,788**

(\$: 137)

6,456

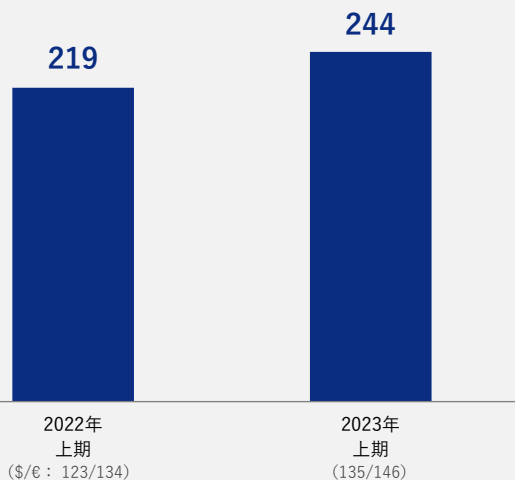
(145)

SPV事業

- 実績：前年に上海ロックダウンの影響を受けたe-Kitの出荷台数が増加し増収・増益。
- 年間見通し：調整局面が継続。将来への投資継続。

営業利益率 **4.5%** **8.8%**

売上高（億円）

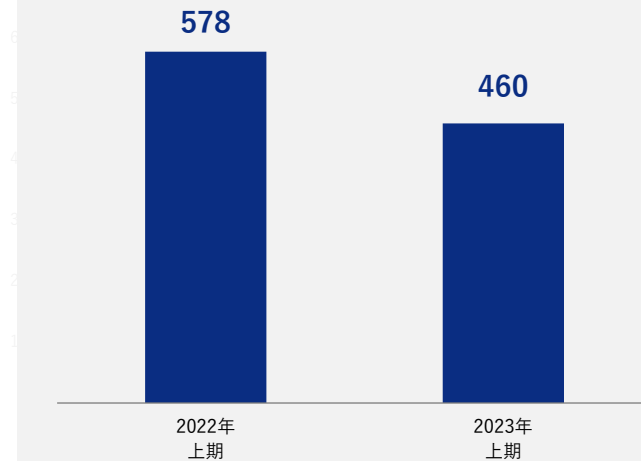


ロボティクス事業

- 実績：中国市場低迷で減収・減益。
- 年間見通し：緩やかに回復も当初予想は下回る。

営業利益率 **14.1%** **0.8%**

売上高（億円）





事業別 売上高・営業利益（年間見通し）

売上高

(億円)	2022年間 実績	2023年間 当初予想	2023年間 修正予想
ランドモビリティ	14,682	16,110	16,600
（内）二輪車	12,917	13,910	14,680
（内）RV	1,233	1,410	1,440
（内）SPV	533	790	480
マリン	5,170	5,410	5,400
ロボティクス	1,159	1,290	1,150
金融サービス	622	710	780
その他	851	980	1,070
全社	22,485	24,500	25,000

営業利益

(億円)	2022年間 実績	2023年間 当初予想	2023年間 修正予想
ランドモビリティ	874	780	1,050
（内）二輪車	847	670	1,030
（内）RV	-29	40	40
（内）SPV	56	70	-20
マリン	1,092	1,180	1,200
ロボティクス	119	140	65
金融サービス	175	150	120
その他	-12	50	65
全社	2,249	2,300	2,500

(\$/€)	2022年実績 (132/138)	2023年当初予想 (125/135)	2023年修正予想 (135/145)
--------	----------------------	------------------------	------------------------

地域別台数・売上高（上期）

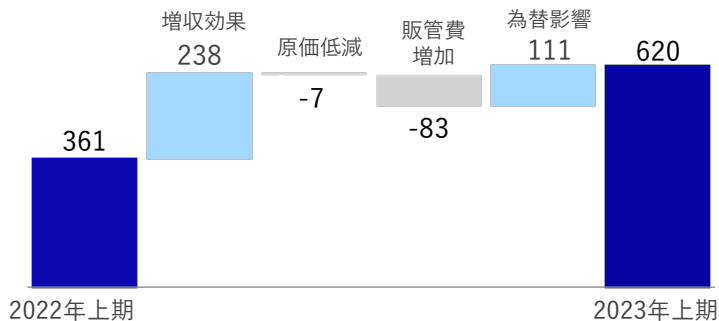
二輪車出荷台数

(千台)	2022年	2023年	前年比
日本	48	38	79%
北米	36	45	124%
欧州	108	121	112%
アジア	1,865	1,961	105%
その他	288	297	103%
全社	2,345	2,462	105%

二輪車売上高

(億円)	2022年	2023年	前年比
日本	282	223	79%
北米	302	410	136%
欧州	980	1,194	122%
アジア	3,602	4,120	114%
その他	894	1,111	124%
全社	6,060	7,058	116%

営業利益変動要因



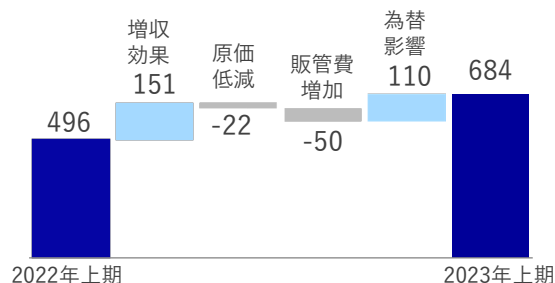
(\$/€) 2022年 (123/134) 2023年 (135/146)

地域別台数・売上高（上期）

マリン売上高

(億円)	2022年	2023年	前年比
日本	171	150	88%
北米	1,528	1,882	123%
欧州	459	395	86%
アジア	111	218	196%
その他	290	354	122%
全社	2,559	2,998	117%

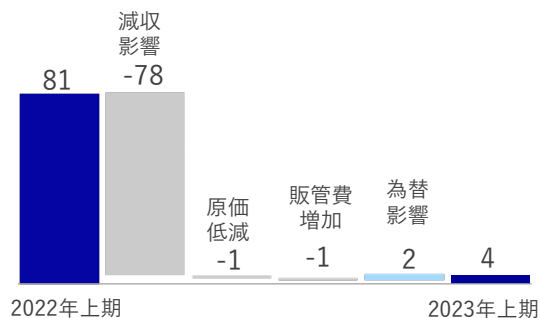
営業利益変動要因



ロボティクス売上高

(億円)	2022年	2023年	前年比
日本	126	127	101%
北米	15	18	120%
欧州	49	50	103%
アジア	385	262	68%
その他	4	4	94%
全社	578	460	80%

営業利益変動要因



(\$/€) 2022年 (123/134) 2023年 (135/146)

財務状況

(億円)	2022年 上期	2023年 上期
営業活動によるCF	434	482
投資活動によるCF	-196	-529
フリーCF	238	-47
財務活動によるCF	203	163
設備投資	305	355
減価償却費	287	306
研究開発費	500	519
(億円)	2022年 12月末	2023年 6月末
現金及び現金同等物 期末残高	2,968	3,199
有利子負債 期末残高	6,027	7,287
ネットキャッシュ	-3,059	-4,088
ネットキャッシュ（販売金融除く）	1,020	1,035

為替影響（対前年、年間予想）

(億円)	上期（6ヶ月）				2023年今回予想（年間）			
	US \$	EURO	その他	合計	US \$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	92	55	17	165	33	78	0	111
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	28	28	0	0	13	13
粗利益の換算影響（海外子会社）	56	31	60	147	15	44	-21	38
販管費の換算影響（海外子会社）	-36	-20	-33	-89	-4	-31	18	-17
営業利益への為替影響	112	66	73	251	45	91	10	146
(億円)	US \$		EURO		US \$		EURO	
為替感応度			9				21	
1円の変動が営業利益に与える影響額			6				13	

